

ホームルーム活動（人権）学習指導案

1 主 題 職業におけるジェンダー平等（男女共同参画社会）

2 主題設定の理由 （省略）

3 ね ら い

性別に関するアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）に気付かせ、職業におけるジェンダー平等を実現しようとする態度を養う。

4 指 導 計 画

障がい者問題について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間
男女共同参画社会をめざして・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間（本時）
同和問題の解決に向けて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間
ハンセン病回復者等の問題から考える・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間
人権尊重の社会の実現をめざして・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間

5 本時の学習

（1）目標

職業によっては性別の偏りがあることに気付かせるとともに、性別を理由として希望する進路を保護者に反対された事例について考える活動を通して、ジェンダーについてのアンコンシャス・バイアスにとらわれることなく、選択肢を広げ、「自分らしさ」を生かして職業選択をしようとする態度を養う。

（2）普遍的な学習のテーマ・・・個人の尊重、法の下での平等

個別人権課題名・・・・・・・・・・女性の人権

(3) 展開

課程	学習活動	指導上の留意点	評価
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> ○人物写真からその人の職業を推測し、3択クイズに答える。 ○本時の学習内容を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○3人の人物の写真を見せ、各人物の職業を3択クイズで答えさせる。 ○本時の主題を知らせる。 	
展開 30分	<ul style="list-style-type: none"> ○データを見て、性別に関するアンコンシャス・バイアスが存在することに気付く。 ○性別を理由として、希望する進路を保護者に反対された事例の動画を視聴し、自分だったらどうするかをグループで考え、発表する。 ○進路を考える際に、自分が誰からどのような影響を受けたかを振り返ってみる。 ○自由に職業選択をできるようにするために、性別に関するアンコンシャス・バイアスに基づいた日常の言動をどう改善していけばいいかをグループで考え、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○職業ごとの男女比や、アンコンシャス・バイアスに関するアンケート調査の結果を知らせる。 ○グループで話し合った内容を学習支援アプリに記入させ、発表させる。 ○成長の過程で周りの人や社会から受けた影響が自分の職業選択にもつながっている可能性があることを知らせ、自分がこれまで受けた影響について振り返ってみるよう促す。 ○グループで話し合った内容を学習支援アプリに記入させ、発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○性別に関するアンコンシャス・バイアスがあることを理解できたか。(知識的側面) ○自らの課題として捉え、主体的に活動に参加できているか。(価値的・態度的側面) ○性別に関するアンコンシャス・バイアスにとらわれることなく、進路を選択しようとする意欲や態度を身に付けることができたか。(価値的・態度的側面)
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> ○本時のまとめを聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人の行動や言葉がジェンダー平等の実現につながっていくことを伝える。 	